



内藤とし子 議員

高齢者肺炎球菌ワクチン・
教育問題について

問 高齢者肺炎球菌ワクチンの
予防接種について、国の動向は
どのように認識されているか。

答 厚生労働省の予防接種部会
は、見直しについての提言を發
表し医療費削減の意味からも接
種を促進することが望ましいと
しました。

問 後期高齢者医療広域連合の
中ではいくつの自治体がワクチ
ン接種の費用助成を実施されて
いますか。

答 54団体の41団体が実施して
います。

問 高浜市が肺炎球菌ワクチン
の接種助成事業を実施した場合
は、助成事業にかかる費用の増
額により、本人の保険料が増額
されることはありませんか。

答 ありません。

問 後期高齢者医療広域連合の
補助により市の負担もすくなく
て済むのではないか。

答 これまでより補助額は少な

くなるだろうが市の負担も減る
と考えます。

問 ワクチン助成を高浜市で実
施する場合、助成額はいくらを
想定されていますか。

答 75歳以上、接種費用1回8
000円に対して、3000円
の助成をする想定です。先に実
施を決めた他市の例に習って想
定しました。

問 助成事業を開始した場合の
接種対象者数、接種率はどれく
らいを想定していますか。

答 予想としては3900名で
30%を想定しています。

問 後期高齢者医療広域連合の
接種助成事業を活用してもしな
い場合も個人の保険料が変わら
なければ実施するべきではない
か。

答 平成25年4月より実施する
予定です。

問 一人当たりの貸し出し冊数
を聞くと6年生、また中学生に
なると少ないと思うが本を借り
に出来ない子はどれくらいいるの
かつかんでいるか。

答 借りに来ない子の数はわか
りません。貸し出しだけでなく
クラスでも本を利用した学習も
行なっていますので本を利用し
ていないことはないと思いま
す。



黒川美克 議員

公共施設あり方検討委員会
について

問 進め方と今後の展開につい

答 公共施設は、市民生活に必
要なサービスを提供する場とし
て、市民全体の貴重な財産です。
建築後30年を経過した公共施設
が数多く存在し、今後、大規模
な改修や修繕が必要となるため、
公共施設で提供される行政サー
ビスのコストを総合的に見直し、
有効活用するために平成23年度
に高浜市公共施設マネジメント
白書を作成しました。

白書は、施設の利用状況や維
持管理のデータ、情報を分析し、
検討するための基礎資料です。
平成24年度では、現状と課題
を踏まえ、学識経験者等の専門
家と市民の代表による6名の委
員で構成する公共施設あり方検
討委員会が今後の公共施設のあ
り方の検討を進めます。

委員会では優先順位や施設の
保全、その他公共施設の適正配

置及び効率的な管理運営の方向
性について意見を伺い、今後の
公共施設のあり方等の「公共施
設マネジメント基本方針」及び
「公共施設改善計画（案）」の
策定を行います。

「大方針」として「高浜市の
次世代に向けた公共施設マネジ
メントの確立・発信」を掲げ、
今後の人口動態や地勢、周辺自
治体との連携等を踏まえ、「地
域特性を反映したマネジメント」
等、「新たな取組みによる
公共施設マネジメント」方針を
掲げ、将来の公共施設の改善策
等を明らかにします。

また、公共施設改善計画（案）
では、公共施設マネジメント基
本方針に基づき、公共施設ごと
に、施設所管グループの意見も
取り入れて改善案の取りまとめ
を行います。

平成25年度では、公共施設改
善計画（案）について、パブリ
ックコメント等を行い、改善計
画を仕上げ、仮称公共施設保全
計画の策定を進めていきます。
今後40年間という長期を見据
えた方針であることから、今後
とも、社会経済情勢の変化や市
民ニーズの変化等によっては、
適宜、見直しを行っていく必要
があると考えております。